

# 少子化に関する県民意識調査について

## 1 調査の目的

本県における子育ての現状や少子化対策に関する県民の意識やニーズ等を把握するための調査を行い、本県の特徴を把握するとともに、次期「はぐみんプラン」策定のための基礎資料とする。

## 2 調査時期

平成30年10月

## 3 調査の概要

「あいち はぐみんプラン 2015-2019」策定時に実施した「少子化に関する県民意識調査」と同じ調査地域、調査対象、標本数、調査方法によって行う。

	内 容
1 調査地域	愛知県内全域
2 調査対象	愛知県内に居住する満20歳から49歳の男女
3 標本数	3,000人
4 抽出方法	住民基本台帳等に基づく無作為抽出法
5 調査方法	郵送法（郵送により調査票等の送付、回収を行う。）
6 調査項目	結婚や子どもを持つことに対する意識、子育てに関する現状認識等少子化に関する意識を問う設問（40項目程度を予定）
7 実施方法	調査専門業者 <sup>※1</sup> に下記の内容を委託する。 <b>【委託の内容】</b> 調査票 <sup>※2</sup> の調整、作成、印刷、データ入力・集計・分析 報告書の作成等 ※1 調査専門業者は、一般競争入札により選定 ※2 調査票の設問項目は、子ども・子育て会議において検討・決定

## 4 スケジュール（予定）

7月	標本（調査対象者）の抽出
8月	子ども・子育て会議で調査項目案検討
9～10月	調査票発送準備
10月	調査実施
11～12月	集計
1月	結果報告書素案作成
3月	子ども・子育て会議に結果報告書提出

## 5 調査項目設定の考え方

「あいち はぐみんプラン 2015-2019」策定時に実施した「少子化に関する県民意識調査」（平成25年10月調査実施）との経年比較を実施するため、同調査の調査項目を基本とし、最近の情勢や新たな子育て支援事業のニーズを把握するための回答選択肢を追加した。

番号	調査項目
	少子化に関する意識
1	少子化への危機感
2	少子化が与える影響
3	「安心して子どもを産み育てることができる社会」のための施策
4	理想子ども数と予定子ども数
5	予定子ども数が理想子ども数を下回る理由
6	仕事を辞めた経験
7	就業状態及び再就職の意思
8	<b>女性が子育てしながら働く上での問題点</b>
	子どもがいる人の子育てに関する意識
9	子どもと過ごす時間
10	子育ての良い点
11	子育ての負担な点
12	子育てへの関わり状況
13	子育てへの関わりが不十分な理由
14	子どもが生まれてからの時間の使い方
15	<b>男性の育児への参加状況</b>
16	子育てに利用しなかった(してみたい)制度
17	職場での育児関連制度の利用状況
18	育休を取得しなかった理由
19	子どもを通じたご近所づきあい
20	子育ての喜び
	独身者の結婚に関する意識
21	結婚の意志
22	結婚の利点
23	独身にとどまっている理由
	ワークライフバランスに関する意識
24	ワークライフバランスの状況
25	仕事への意欲
26	子育てしやすい職場環境
27	子育てしやすすくない原因
	期待する少子化対策
28	結婚を支援する施策
29	<b>安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策</b>
30	<b>育児を支援する施策</b>
31	地域社会における住民同士の助け合い
32	はぐみんの認知度、はぐみんデーの認知度
	回答者の属性
33～41	性別・年齢等

※下線ゴシックが前回調査から変更したもの

県民意識調査（案）

【問 8】あなたは、女性が子育てをしながら働く上で問題となっていることは何だと思いますか。（複数回答）

1. 子育てに十分な時間をかけることができない
2. 子育てを重視しながら働くことに上司や同僚の理解・協力が得られない
3. 仕事と家事の両立が体力・時間的に難しい
4. 仕事と育児の両立が体力・時間的に難しい
5. 通勤時間が長い
6. 昇進や昇給に不利である
7. 休みがとりにくい、残業が多い
8. 転勤がある
9. 子どもの病気など急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない
10. 預かってくれる保育所や認定こども園がない
11. 預かってくれる放課後児童クラブ(学童保育)がない
12. 保育所・認定こども園や放課後児童クラブ以外の預かってくれる施設がない
13. 子どもの病気の時や急な残業に対応してくれる保育サービスがない
14. 保育サービスにお金がかかる
15. 配偶者の理解・協力が得られない
16. 家族(配偶者以外)の理解・協力が得られない
17. 育児休業や短時間勤務などの制度が利用しづらい
18. その他（ ）
19. 特に問題はない
20. わからない

【問 1 5】 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭の中で、夫と妻が同程度あるいは夫の方が主として行ってほしい（行ってほしかった）ことは何ですか。あてはまる番号に いくつでも○印をつけてください。（配偶者のいらっしゃる女性には、問 1 6 にお進みください）

1. 食事の世話をする
2. おむつを取り替える
3. 入浴させる
4. 寝かしつける
5. 家の中で、話や遊び相手をする
6. 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く
7. 日常生活上のしつけ
8. 保育所・幼稚園等(日中預けている場所)の送り迎え
9. ベビーシッター等の手配・交渉
10. その他（ ）
11. 行ってほしいことはない
12. わからない

平成 25 年度実施調査「少子化に関する県民意識調査」

【問 8】あなたは、女性が子育てをしながら働く上で問題となっていることは何だと思いますか。（複数回答）

1. 子育てに十分な時間をかけることができない
2. 子育てを重視しながら働くことに上司や同僚の理解・協力が得られない
3. 仕事と家事の両立が体力・時間的に難しい
4. 仕事と育児の両立が体力・時間的に難しい
5. 通勤時間が長い
6. 昇進や昇給に不利である
7. 休みがとりにくい、残業が多い
8. 転勤がある
9. 子どもの病気など急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない
10. 預かってくれる保育所や認定こども園がない
11. 預かってくれる放課後児童クラブ(学童保育)がない
12. 保育所・認定こども園や放課後児童クラブ以外の預かってくれる施設がない
13. 子どもの病気の時や急な残業に対応してくれる保育サービスがない
14. 保育サービスにお金がかかる
15. 配偶者の理解・協力が得られない
16. 家族(配偶者以外)の理解・協力が得られない
17. その他（ ）
18. 特に問題はない
19. わからない

【問 1 5】 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭の中で、夫が行っている（行っていた）項目は何ですか。また、その頻度はどれくらいですか。男性はご自身の、女性は配偶者の状況に関して、それぞれの項目について最もあてはまる番号を 1 つ選び○印をつけてください。（配偶者のいらっしゃる女性には、問 1 6 にお進みください）

	週 5 日以上	週 3~4 日程度	週 1~2 日程度	ほとんどしない
1. 食事の世話をする	1	2	3	4
2. おむつを取り替える	1	2	3	4
3. 入浴させる	1	2	3	4
4. 寝かしつける	1	2	3	4
5. 家の中で、話や遊び相手をする	1	2	3	4
6. 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く	1	2	3	4
7. 日常生活上のしつけ	1	2	3	4
8. 保育所・幼稚園等(日中預けている場所)の送り迎え	1	2	3	4
9. ベビーシッター等の手配・交渉	1	2	3	4
10. 妻の悩み事を聞く	1	2	3	4
11. 妻の気持ちや考えを理解する	1	2	3	4
12. その他	1	2	3	4

県民意識調査（案）	平成 25 年度実施調査「少子化に関する県民意識調査」
<p>【問 2 9】 あなたは、安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策として何が重要だと思いますか。この中からあなたの考えに近い番号を 3 つ以内で選び○印をつけてください</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出産育児一時金(4 2 万円)を増額する</li> <li>2. 不妊治療に対する助成を拡充する</li> <li>3. 妊娠中の健康診断を無料化する</li> <li>4. 産前 6 週間(多胎妊娠は 14 週間)・産後 8 週間の休暇期間を拡大する</li> <li>5. 産後ケア事業などの母子保健サービスを充実する</li> <li>6. 家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する</li> <li>7. 産科医療体制を充実する</li> <li>8. 妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口(子育て世代包括支援センター等)の充実</li> <li>9. 産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を促進する</li> <li>10. その他( )</li> <li>11. 特にない</li> <li>12. わからない</li> </ol>	<p>【問 2 9】 あなたは、安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策として何が重要だと思いますか。この中からあなたの考えに近い番号を 3 つ以内で選び○印をつけてください</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出産育児一時金(4 2 万円)を増額する</li> <li>2. 不妊治療に対する助成を拡充する</li> <li>3. 妊娠中の健康診断を無料化する</li> <li>4. 産前 6 週間(多胎妊娠は 14 週間)・産後 8 週間の休暇期間を拡大する</li> <li>5. 母子保健サービスを充実する</li> <li>6. 家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する</li> <li>7. 産科医療体制を充実する</li> <li>8. その他( )</li> <li>9. 特にない</li> <li>10. わからない</li> </ol>
<p>【問 3 0】 あなたは、育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。この中からあなたの考えに近い番号を 3 つ以内で選び○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスを充実する</li> <li>2. 児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する</li> <li>3. 育児休業をとりやすい職場環境を整備する</li> <li>4. フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を推し進める</li> <li>5. 時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する</li> <li>6. 育児休業中の所得保障を充実する</li> <li>7. 出産・育児による退職後の再就職支援を充実する</li> <li>8. 子ども医療費への支援を充実する</li> <li>9. 教育費への支援を充実する</li> <li>10. 子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する</li> <li>11. 育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する</li> <li>12. 妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口(子育て世代包括支援センター等)の充実</li> <li>13. その他( )</li> <li>14. 特にない</li> <li>15. わからない</li> </ol>	<p>【問 3 0】 あなたは、育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。この中からあなたの考えに近い番号を 3 つ以内で選び○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスを充実する</li> <li>2. 児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する</li> <li>3. 育児休業をとりやすい職場環境を整備する</li> <li>4. フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を推し進める</li> <li>5. 時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する</li> <li>6. 育児休業中の所得保障を充実する</li> <li>7. 出産・育児による退職後の再就職支援を充実する</li> <li>8. 子ども医療費への支援を充実する</li> <li>9. 教育費への支援を充実する</li> <li>10. 子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する</li> <li>11. 育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する</li> <li>12. その他( )</li> <li>13. 特にない</li> <li>14. わからない</li> </ol>